

連盟沿革

1956年 (昭和31)	4月	全日本銃剣道連盟設立 初代会長に今村均が就任
1957年 (昭和32)	4月	第1回全日本銃剣道選手権大会開催
1970年 (昭和45)	4月	社団法人として全日本銃剣道連盟の設立が認可される
1970年 (昭和45)	7月	第1回全日本青少年銃剣道大会(現・全日本青年銃剣道大会)開催
1971年 (昭和46)	8月	銃剣道教則制定
1973年 (昭和48)	8月	財団法人日本体育協会加盟
1974年 (昭和49)	2月	沖縄県に銃剣道連盟が設立され、全都道府県に銃剣道連盟が設立される
1976年 (昭和51)	6月	1980年(昭和55)年の第35回国民体育大会より正式種目として決定される
1977年 (昭和52)	4月	日本武道協議会発足 現代武道9団体の一つとして加盟する
1978年 (昭和53)	5月	銃剣道のほか、短剣道の普及開始。 銃剣道とともに連盟の両輪となる
1979年 (昭和54)	8月	全日本少年武道(銃剣道)錬成大会を財団法人日本武道館と共催して開催を開始する
1980年 (昭和55)	10月	第35回国民体育大会(栃木・栃の葉国体)に銃剣道競技初参加
1982年 (昭和57)		全関東銃剣道大学連盟(現・全日本学生銃剣道連盟)発足
1984年 (昭和59)		全都道府県連盟が各都道府県体育協会に加盟
1989年 (平成元)	7月	全日本青少年銃剣道大会より高校生の部を独立させ、第1回全国高校生銃剣道大会を開催
1993年 (平成5)	4月	全日本銃剣道選手権大会を全日本銃剣道優勝大会に改称 団体戦のみ行う全日本大会となる
1993年 (平成5)	8月	新たに第1回全日本銃剣道選手権大会を開催 各都道府県代表選手による真の個人日本一を決定する大会とする
1995年 (平成7)	4月	指定審判員規則の改正が行われ、従来の指定審判員制度からA級・B級・C級審判員とランク制度を導入し、更新実技審査を義務付ける
1997年 (平成9)	4月	銃剣道服装(銃剣道衣)規則改正 従来のズボン式から袴服装になる
1999年 (平成11)	9月	財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に連盟として参入 専門科目養成講習会開催を開始する
2001年 (平成13)	9月	これまで銃剣道大会の中で行われてきた短剣道を独立させた、全日本短剣道大会開催を開始する
2002年 (平成14)		全日本少年武道(銃剣道)錬成大会に公開競技として短剣道の部を新設
2005年 (平成17)		全日本少年武道(銃剣道)錬成大会短剣道の部が正式種目となる
2006年 (平成18)	7月	連盟単独主催で開催していた全国高校生銃剣道大会を宮城県岩沼市との共催で開催開始 開催地も岩沼市となる
2006年 (平成18)	8月	連盟創立50周年記念式典が塩川正十郎財団法人日本武道館会長(当時)をはじめ、約200名が集まり挙行される
2007年 (平成19)		審判員服装改正
2008年 (平成20)	9月	第63回国民体育大会(チャレンジ!おおいた国体)銃剣道競技より成年男子の選手年齢制限を撤廃。各都道府県のトップの代表選手により行われる
2010年 (平成22)	3月	連盟単独では初の海外普及事業を実施 ベラルーシ共和国にて銃剣道指導者を派遣
2012年 (平成24)	4月	内閣総理大臣より公益社団法人への移行認定を受ける
2014年 (平成26)	7月	国民体育大会銃剣道競技少年男子の部への中学3年生参入に備えるため、全国高校生銃剣道大会に中学3年生の参加を認める
2016年 (平成28)	1月	全国で初めて中学校の保健体育授業で銃剣道が実施される (神奈川県平塚市立土沢中学校)